世界旅打ち気分

●第15回・続・UAEの競馬

須田鷹雄

アブダビは首都の競馬場だが
のんびりした雰囲気

写真のカラー版は
https://www.instagram.com/sudatakaoshoten/の
#グリーンファーム会報#2019年5月号
でご覧いただけます

前回は「昔のUAE」と題し、ナドアルシバ時代のドバイワールドカップ開催や改装前のシャルジャについて書いたが、今回はUAE国内にある他の競馬場をご紹介しよう。

UAEには現在、メイダン、シャルジャ、アブダビ、ジュベルアリ、アルアインの5競馬場がある。このうちアルアインには残念ながら私は行ったことがない。またこの他にかつてガントゥートという競馬場もあったのだが、王族のプライベート施設のようになって開催はおろか、見学もできなくなってしまった（一度、アポ無しで交渉したが断られた）。ただし施設の一部でポロの試合などが行なわれることもあり、そのときには構内に入れるようだ。

というわけで、ナドアルシバ・メイダン（両者はほぼ同じ場所であり、国際厩舎の位置は変わっていない）、シャルジャのほかに私が行ったことのある競馬場はアブダビとジュベルアリということになる。まずはアブダビ競馬場からご紹介しよう。

ご存知の通りアブダビはUAEの首都であり、首長国としても一番格上の存在。さぞかし競馬場も立派なのだろう……と思いきやそんなこともない。きわめて簡素な競馬場である。

多くの日本人はドバイ側からアプローチすることになるだろうが、アブダビの中心部よりも若干ドバイ側であり、ドバイの空港からでも車で1時間半ほどで着く。いまの時代はスマホがナビがわりになるので迷うことはないだろう。UAEはタクシーが安いし、いまはUBERもあるのでレンタカーを運転できない人でも訪問できるはずだ。検索する際は「レースコース」ではなく「エケストリアンクラブ」（乗馬クラブ）で検索しないと出てこない可能性がある。

私が最後に行ったのはもう10年前なので少しは変わっているかと思ったが、グーグルマップで見られる写真を参考にする限り、そう大きく変わってはいないようだ。王族の席などもあるメインのスタンドは門別のポラリスドームと同じくらいの大きさ。もうひとつひな壇だけのサブスタンドがある。

もちろん馬券は無いので、「当てもの」といえばメイダンなどと同様のピックシックス（6レースの勝ち馬を1点ずつで当てる）くらいしかない。用紙は入場者がみんなもらいにいくので、付いていけば分かる。提出についても同様である。まあ、当たるものではないのでそんなに本気になる必要もない。ピック6だけだと1レースが外れた時点で楽しくなくなってしまうので、第1レースと第2レース、第3レースと第4レース……というように2レースをセットでそれぞれ3連単1点的中を目指す（これもそうそう当たるものではない）当てる枠もある。マークカードは提出用と控えに分離し、控えのほうにも通し番号が付いているので、帰りに掲示板で当選者番号を確認する（ズバリの的中者がいない場合は惜しい人が的中になる）ことになる。

アブダビでもうひとつイマイチなのが食べ物だ。私が行ったのがヒラ開催だったせいもあるだろうが、シャマルワ（焼いた肉をこそいでピタパンにくるむやつ）の屋台が出ている程度。選択肢は無い。

ただ競馬はいっぱしのものが行なわれている。アラブのレースも多く、シェイク・ハムダンなどおなじみの勝負服も見かける。現地である程度のレベルにある競馬を、空いている環境で見られるのは魅力だ。

服装も全くのカジュアルというかラフでいいし、敷物を持っていって地べたに座ってごろごろするようなノリだと思っていただいてよい（大きい開催のときは別かもしれない）。

続いてジュベルアリ。観光でドバイに行く人はこちらのほうがだいぶ行きやすい。高級住宅地として有名なドバイのパームジュメイラに近く、メイダンからは車で25分ほど。有名ショッピングモールであるモールオブジエミレーツからは車で10分ほどのところにある。そして、このジュベルアリはものすごく独特な競馬場なので、ぜひ一度訪れてみてほしい。

独特なのはコースの形状だ。まず形そのものだが、Uの字を縦にながーく引っ張ったような形を想起していただきたい。さらにその縦棒の片側（スタンド側）からはシュートも伸びている。コースを1周ぐるっと周回するレースはなく（なにしろ1周は繋がっていないので）、U型のワンターンか、シュートからの直線レースのどちらかということになる。

そしてこのコース、直線の勾配が尋常でない。ネットでさんざん探しても正確な斜度が分からなかったのだが、とにかく坂路調教コースのレベルである。10年ほど前には「国際厩舎で検疫を終えたらこっちに移動させてもらって坂路調教ができるのではないか」という話がそこそこ真面目に語られたほどだ。

施設もアブダビよりだいぶ充実している。スタンドの収容人員も多いし、坂の下から登ってくる馬たちを見る形なのでレースも見やすい。観客席から見て左側の奥には高層ビル群も見えるし（有名高層ホテルのバージアルアラブも見える）、それでいて向正面や3～4角側はさえぎるものがなにもないので開放感も素晴らしい。

場内には子供達が遊ぶための公園もあるし、民芸品や雑貨を売る謎の売店もある（地元民が買うとも思えず、観光客にも刺さらない品揃え）。全体的にはかなりローカル色が強いというか、観光客はまず来ない。ここにもピックシックスのような投票はあるが、投票箱が男性用と女性用に分かれており、イスラム色がより強くなっている。

ただ食べ物はというと、いちばん流行っている（そしてほぼ唯一の）お店がピザ屋であり、ある意味西洋文明進出しまくりのドバイらしいといえばドバイらしい。他には地面にシートを敷いて豆だのお菓子だのを売るような人もいる。

このジュベルアリに行ったら、一箇所に腰を据えてレースを見るのではなく、いくつか位置を変えて観戦したい。まずはメインのスタンド。競馬場の全体像が見えるほか、ゴール時にはその先にバージアルアラブが見えてたいへん良い眺めだ。

2つめはゴール近くのラチぎわ。ゴール板前は確かにパドックの一部で一般客は入れないが、残り50メートルあたりのパドック脇はラチ沿いに陣取れる。そういう「一等地」がけっこう空いているのも海外の競馬場である。ここでは急坂を必死に登ってくる馬たちの息使いを感じることができる。

最後はファンエリアでいちばんゴール板から遠いところのラチ際だ。ここは坂の下ということになる。走り過ぎていく馬たちが坂路を上っていくところを後ろから見送る形になり、これは他の競馬場ではなかなか経験できない観戦アングルである。なにしろ馬券が無いのでレース間はけっこうヒマ。あちこち場内を動いて満喫するのがおすすめだ。

残り1ハロン地点から見上げる
ジュベルアリの直線

ジュベルアリ競馬場のゴール板奥には
バージアルアラブの姿が

https://www.instagram.com/sudatakaoshoten/